

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

企業・業界団体等との連携により、必要となる最新の知識・技術・技能を反映するため、企業・業界関係団体等からの意見を十分に活かし、カリキュラムの改善等の教育課程の編成を行う。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

上記基本方針に則り、校長の下に教育課程編成委員会を置き、全学科の教科構成について、実務における重要事項が該当する学科のカリキュラムに反映されているかを確認する。指摘を受けた内容について、各学科にて詳細検討を行い、改善項目を校長に報告する。校長は教育課程編成委員会委員にその旨を伝達する。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

平成30年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
坂本 敏	中央動物専門学校 校長	平成29年4月1日～平成31年3月31日(2年)	
佐藤 洋子	中央動物専門学校 教務部長	平成29年4月1日～平成31年3月31日(2年)	
渡来 純如	中央動物専門学校 教員室長	平成29年4月1日～平成31年3月31日(2年)	
小澤 琢爾	公益社団法人日本動物病院協会(JAHA)事務局主任	平成29年4月1日～平成31年3月31日(2年)	①
藤川 進	有限会社ターレス 代表取締役	平成29年4月1日～平成31年3月31日(2年)	③
齋藤 栄輝	株式会社ペピカ 業務部部长	平成29年4月1日～平成31年3月31日(2年)	③
笹井 利浩	北千束動物病院 院長	平成29年4月1日～平成31年3月31日(2年)	③
久保 純	あしあと動物病院 代表	平成29年4月1日～平成31年3月31日(2年)	③
高橋 三行	社会福祉法人 泉陽会 新町光陽苑 施設長	平成29年4月1日～平成31年3月31日(2年)	③
宮澤 厚	株式会社トーリーメイト 顧問	平成29年4月1日～平成31年3月31日(2年)	③

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)

②学会や学術機関等の有識者

③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

年2回 6月・1月

(開催日時)

第1回 平成30年6月19日(火) 14:00～16:00 予定

第2回 平成31年1月15日(火) 14:00～16:00 予定

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

教育課程編成委員会より出された意見は、翌年度の教科構成に反映させる。

・空前の猫ブーム。現場では猫の扱い技術が非常に大事。犬と比べトリミング料が高い。もう少し猫の技術を磨いてほしい。

【意見対応状況】⇒平成28年度中に、学内に「猫の飼育検討委員会」を設置し、検討したが、現状の飼育は困難という結論に至った。現在、選択ではあるが、キャットグルーマーの資格を目指す「猫美容実習」の有効活用を推進し、平成29年度は全学的ではあるが、例年の2倍近い学生の受講状態にある。継続して、猫関連の教育強化を検討していく。

・本校の卒業の当院スタッフは美容技術が高い。実習を通じて扱っている頭数(実数)が他校に比べ多いからと思われる。

【意見対応状況】⇒本校の特色である、全学共通の必修科目の「動物美容実習」の教科構成により、動物看護関連科も、在学中の通年、週1日の「動物美容実習」を履修している成果と思われる。内容充実も含め今後も継続して技術の習得時間を確保していく。

・犬の高齢化により、獣医療業界では歯科の需要が増加。歯石を取る等の実習の充実化を図るべき。

【意見対応状況】⇒100頭を超える校有犬の健康管理の一環として、本学科の特色である「外科実習」の中で、三年制は3年次に通年的に、二年制は卒業前の2年生の後期に「スケーリング実習」で履修している。時間数については、統一認定動物看護師の受験要件である「高位平準化標準コアカリキュラム」の平成30年度改定通知と連動して見直す事としたい。

・決められたカリキュラム、時間数の中で「人間力向上」に繋げる授業に向けて、更なる工夫が必要。

【意見対応状況】⇒本校の特色である全学必修科目の「一般教養」の授業内容の強化と、全学全科目において、可能な限り、教員からの一方的な教授方法だけでなく、学生が考え、分析し、提案する能力育成のための「アクティブラーニング」の授業導入を心がけるよう努力する。

平成30年度については、平成30年1月開催の第2回同委員会の結果を鑑みて、教科構成の必要な修正を行うものとする。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。」関係

(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

実習・演習等は専門学校教育の根幹をなす重要なものである。よって、常に最新の技術を指導する必要がある、そのために学校と企業等が密接に連携した体制を築き、より実践的な職業教育となるように努める。
連携を行う企業とは、職業教育協定書(教育事業受託契約書)を取り交わし、契約の趣旨に則り実践的な職業教育を行うものとする。

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容

上記基本方針に則り、次の項目について連携を行う。

- ①カリキュラムの作成 ②講義及び実習の実施 ③講義・実習教材の作成
④成績評価及び進級審議等に関する助言 ⑤その他の実習運営上に必要となる事項

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
一般教養	社会人として必要な一般知識、人間性の教育を学ぶ。	株式会社ラ・デタント
公衆衛生・感染症学(寄生虫学含む)	病原体の分類、性状等を理解し、感染や病害発生メカニズムを学習する。動物から人間へ感染する疾病の理解と予防、対策を含めた衛生管理の知識を学ぶ。主に犬猫に感染する寄生虫の形態や生活環など基礎を理解し、検査方法および虫卵の鑑別についても習得する。	有限会社サエキベテリナリィ・サイエンス
動物臨床検査実習	生体より得られる血液・糞便・尿・細胞などを用いた検査から生体に起こる変化を検出し、診断へと導くことの意義や検体の扱いについて理解する。生体検査としてX線検査、超音波検査、心電図検査、内視鏡検査、CT及びMRI検査の特徴と検査に関わる基本事項を学ぶ。	鳥と小動物の病院 falconest
動物看護実習	動物の状態を的確に把握する能力と臨床で必要な看護技術を身につける。	桑原動物病院
動物行動実習	犬の行動様式、学習原理を理解したうえで、基本的なしつけトレーニングを実践する。診療時における誤った行動の学習を防止、適切な対応ができるようになる。また飼主が犬との良い関係が構築されるよう、トレーニング法と問題行動の予防方法を説明・指導できるようにする。	株式会社アニマルライフ・ソリューションズ

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究（以下「研修等」という。）の基本方針

「教員等の研修に関する規程」により、本校の教育職にあるものは、各自が担当する授業の分野に応じ、企業等と連携の上で、高度化、多様化する理論及び新技術等について研修に努めなければならない。
校長は、教育職にある者に対し、教員の業務経験や能力を勘案し、日常の業務を通じて必要な研修を命令する。また、事前に計画し、校長に承認を得た者は企業と連携した研修を認めている。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修者名	研修先【研修内容】	研修期間
大津賢太郎	犬の専門店 ワイズカンパニー 【ハンドリング技術研修】	平成29年4月2日～平成30年3月25日
高嶋奈央実	一般社団法人 JAPAN KENNEL CLUB 【埼玉西クラブ連合会展(出陣)】	平成29年4月9日
飛高健太郎	動物健診センター キャミック 【CT・MRIの画像診断の最新情報】	平成29年6月28日
臼井明子	JASMINE どうぶつ循環器病センター 【JASMINE どうぶつ循環器病センター 第3回 Bloomingセミナー】	平成29年7月22日
篠崎愛	株式会社インターズー 【Live trim カット実演セミナー】	平成29年8月2日
篠崎愛	ジャベル株式会社 リバティペットケアカレッジ 【猫の美容実習】	平成29年8月3日
茶木育歩	ジャベル株式会社 リバティペットケアカレッジ 【猫の美容実習】	平成29年8月3日
篠崎愛	一般社団法人日本臨床獣医学フォーラム	平成29年9月15日

本郷奈美	【日本臨床獣医学フォーラム 年次大会2017】 一般社団法人日本臨床獣医学フォーラム	平成29年9月15日～9月17日
齊藤利章	【日本臨床獣医学フォーラム 年次大会2017】 東京都福祉保健局 動物愛護相談センター	平成29年9月21日
近藤通子	【平成29年度 動物取扱責任者研修】 東京都福祉保健局 動物愛護相談センター	平成29年9月21日
高嶋奈央実	【平成29年度 動物取扱責任者研修】 株式会社ニチドウ	平成29年10月18日
末松麻依	【第28回ミラクルグルーミング講習会】 一般社団法人 日本動物看護職協会	平成29年10月22日
櫻井美香	【第7回動物看護大会～動物看護師だからできること～】 一般社団法人 日本動物看護職協会	平成30年1月20日、2月24日
三井千春	【動物看護研究はじめて講座】 株式会社ブラック	平成30年1月23日
篠崎愛	【“UP TO YOU”ワールドグルーミングセミナー2018inTokyo】 株式会社ブラック	平成30年1月24日
櫻井美香	【“UP TO YOU”ワールドグルーミングセミナー2018inTokyo】 一般社団法人 日本動物看護職協会	平成30年1月20日、2月24日
本郷奈美	【動物看護研究はじめて講座】 東京都福祉保健局 動物愛護相談センター	平成30年2月28日
	【平成29年度 動物取扱責任者研修】	
②指導力の修得・向上のための研修等		
研修者名	研修先【研修内容】	研修期間
倉岡麻里子	一般社団法人 職業教育・キャリア教育財団 【専修学校教員教職課程研修会】	平成29年5月12日～11月14日
茶木育歩	一般社団法人 職業教育・キャリア教育財団 【専修学校教員教職課程研修会】	平成29年5月12日～11月14日
大塚謙伍	株式会社ディスコ 【第7回C-Learningセミナー「ジューギョウカイゼンとFD」】	平成29年7月26日
大塚謙伍	公益財団法人 東京都私学財団 【平成29年度 コーチング研修 一般コース】	平成29年8月1日～29年8月2日
篠崎愛	株式会社ビーフォーシー 【教授法研修～成果を上げる！指導力の向上～】	平成29年8月18日、8月21日
末松麻依	株式会社ビーフォーシー 【教授法研修～成果を上げる！指導力の向上～】	平成29年8月18日、8月21日
飛高健太郎	一般社団法人全国専門学校情報教育協会 【学生の主体的学びを引き出すためのインストラクションスキル向上研修】	平成29年8月21日～8月22日
渡来純如	ジャベル株式会社 ジャベル プロコレクション 【ペット用品の知識向上】	平成29年8月30日
大津賢太郎	ジャベル株式会社 ジャベル プロコレクション 【ペット用品の知識向上】	平成29年8月30日
篠崎愛	ジャベル株式会社 ジャベル プロコレクション 【ペット用品の知識向上】	平成29年8月30日
大塚謙伍	公益財団法人 東京都私学財団 【平成29年度第3回人権教育研修会「ネット時代の人権問題を考える～ネットいじめから子供をまもるために～」】	平成29年10月11日
大塚謙伍	株式会社進研アド 【退学防止面接ノウハウ研究会】	平成29年11月29日
渡来純如	公益社団法人東京都専修学校各種学校協会 【学生カウンセリング研修会】	平成30年1月18日
大塚謙伍	公益社団法人東京都専修学校各種学校協会 【学生カウンセリング研修会】	平成30年1月18日
渡来純如	ジャベル株式会社 【2018ペット総合展示会】	平成30年2月28日
茶木育歩	ジャベル株式会社 【2018ペット総合展示会】	平成30年2月28日
大津賢太郎	日本ウエイン株式会社 【2018春季オールペット用品フェア展示会】	平成30年3月7日
渡来純如	公益財団法人 全国経理教育協会 【教職員に求められる資質と学生指導・マナー教育の在り方とは】	平成30年3月28日
天野雅弘	公益財団法人 全国経理教育協会 【教職員に求められる資質と学生指導・マナー教育の在り方とは】	平成30年3月28日
茶木育歩	公益財団法人 全国経理教育協会 【教職員に求められる資質と学生指導・マナー教育の在り方とは】	平成30年3月28日
柳原由紀	公益財団法人 全国経理教育協会	平成30年3月28日

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

- ・平成30年度 動物取扱責任者研修(東京都福祉保健局 動物愛護相談センター)
- ・教師講習会(一般社団法人全国動物専門学校協会 主催)
- ・日本臨床獣医学フォーラム 年次大会2018(一般社団法人日本臨床獣医学フォーラム 主催)
- ・セミナー、講習会 随時実施、参加

② 指導力の修得・向上のための研修等

- ・専修学校教員教職課程研修会(一般社団法人 職業教育・キャリア教育財団 主催)
- ・教授力向上研修(一般社団法人専門学校コンソーシアムTokyo主催)
- ・インストラクショナルデザイン研修(一般社団法人専門学校コンソーシアムTokyo主催)
- ・その他 指導力の習得・向上のための研修会へ参加

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

学生が質の高い実践的な職業教育を享受できるよう、学校運営の改善と発展を目指すため、中央動物専門学校運営指針に則り自己評価を実施する。

実践的な職業教育を目的とした、自らの教育活動その他の学校運営について、社会のニーズを踏まえた目指すべき目標を設定し、その達成の適切さ等について評価を行うことが目的となる。

また、卒業生・企業・業界団体等の学校関係者を選任し、自己評価結果についての改善に向けた専門的な助言を受け、組織的・継続的な改善を図る。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	①理念・目的・育成人材像は定められているか ②学校における職業教育の特色は何か ③社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか ④理念・目標・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知がなされているか
(2) 学校運営	①目的等に沿った運営方針が策定されているか ②学則・細則・内規等は整備されているか ③業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか ④教育活動に関する情報公開が適切になされているか ⑤情報システム化等による業務の効率化が図られているか
(3) 教育活動	①各学科のカリキュラムは体系的に編成されているか ②カリキュラムや教育方法の工夫・開発・見直しが行われているか ③授業評価の実施体制はあるか ④資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか ⑤成績評価の基準は明確になっているか ⑥教員資質向上のための研修が行われているか
(4) 教育成果	①就職率の向上が図られているか ②資格取得率の向上が図られているか ③退学率の低減が図られているか ④卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか ⑤卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか
(5) 学生支援	①進路・就職に関する支援体制は整備されているか ②学生相談に関する体制は整備されているか ③学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか ④学生の健康管理を担う組織体制はあるか ⑤課外活動に対する支援体制は整備されているか ⑥保護者と適切に連携しているか
(6) 教育環境	①施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか ②学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか ③防災に対する体制は整備されているか

(7) 学生の募集と受け入れ	①学生募集活動は、適正に行われているか ②学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか ③入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき、行われているか ④学納金は妥当なものとなっているか
(8) 財務	①中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか ②予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか ③財務について会計監査が適性に行われているか ④財務情報公開の体制整備はできているか
(9) 法令等の遵守	①法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか ②個人情報に関し、その保護の為の対策がとられているか ③自己評価の実施と問題点の改善に努めているか ④自己評価結果を公開しているか
(10) 社会貢献・地域貢献	①学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか ②学生のボランティア活動を奨励、支援しているか ③地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているか
(11) 国際交流(留学生)	①留学生の受け入れについて戦略を持って国際交流を行っているか ②留学生の受け入れ、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか ③留学生の学習支援について、適切な体制が整備されているか

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

- ①評価を下げている項目については、課題も見えていることから、早期の対策実施が必要。特に学生数の減少、就職率の向上に向けては、教職員全員が同じ危機意識を持ち取り組む。
- ②就労ビザ取得については学校単体の問題ではないが、各協会を通じて文科省への働きかけを継続して行う。
- ③ドッグトレーナー科等、しつけ訓練に特化した学科開設の検討。
- ④学生の資質低下として学生の家庭や高校までの入学前教育がなされていない状況が窺え、マナー教育等の徹底充実が必要。
- ⑤他校と比較し「特色がない」と思われているのではないかとしつけ訓練授業も導入している事や、本校卒業生と他校卒業生を比較すると、本校は劣っていない。もっとPR強化の必要を感じる。アピール力の弱さの認識不足が最大の問題。
- ⑥自己評価によると、就職指導支援の評価は良好であるが、就職率向上に対する取り組み評価は低い。この実態を検証し対策を講じて改善する。
- ⑦元同窓会の会長として、対象の企画の際は、横の繋がりを利用した呼びかけ強化に協力したい。
- ⑧改善すべき点への取り組みについては、卒業生として尽力したい。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

平成29年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
河野昭一郎	東田端まちづくり協議会 副会長	平成29年4月1日～平成31年3月31日(2年)	近隣・地域
大野 公嗣	一般社団法人 全日本動物専門教育協会 専務理事	平成29年4月1日～平成31年3月31日(2年)	業界団体
柿原 正吾	中央動物専門学校 卒業生	平成29年4月1日～平成31年3月31日(2年)	卒業生
高野須一樹	中央動物専門学校 保護者	平成29年4月1日～平成31年3月31日(2年)	保護者
小山田千秋	株式会社スタンダード オールペット事業部 取締役	平成29年4月1日～平成31年3月31日(2年)	企業
伊澤 伸元	鳥と小動物の病院falconest 院長	平成29年4月1日～平成31年3月31日(2年)	企業
鹿野 正顕	株式会社アニマルライフ・ソリューションズ 代表取締役	平成29年4月1日～平成31年3月31日(2年)	企業

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他())

URL: <http://www.chuo-a.ac.jp/>

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

概ねホームページで公開しているが、学校行事等に関しては適宜、ブログにて情報公開を行う。
特に関連する企業等及び外部講師に対しては、年度開始にあたり会議を開催し、その際、校長から学校概要・運営指針等を説明し、実務教育及び教員研修における連携依頼や学生の就職・研修先の紹介の依頼、様々な教育活動の情報公開も行う。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	①教育理念 ②教育方針 ③学校概要(理事長名、校長名、所在地等)

(2)各学科等の教育	①修業年限・定員 ②学科の特徴、実習内容 ③カリキュラム、時間割 ④資格取得 ⑤卒業後の進路
(3)教職員	①教員紹介 ②教員数
(4)キャリア教育・実践的職業教育	①実技・実習を中心とした職業教育への取り組み ②企業等と連携した校外実習(インターンシップ)
(5)様々な教育活動・教育環境	①教育施設の紹介 ②学校行事のスケジュール ③学校行事の報告 ④その他活動の報告
(6)学生の生活支援	①学生寮の紹介 ②資格取得支援 ③就職支援
(7)学生納付金・修学支援	①学費・諸費用 ②奨学金制度 ③学費減免制度
(8)学校の財務	①計算書類(資金収支・事業活動収支・貸借対照表・収益事業) ②監査報告書(監事・独立監査法人)
(9)学校評価	①自己評価・公表 ②学校関係者評価・公表
(10)国際連携の状況	①留学生の受け入れ ②留学生の学習支援
(11)その他	①校有動物の情報 ②学友会・同窓会の情報

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

URL:<http://www.chuo-a.ac.jp/index.html>